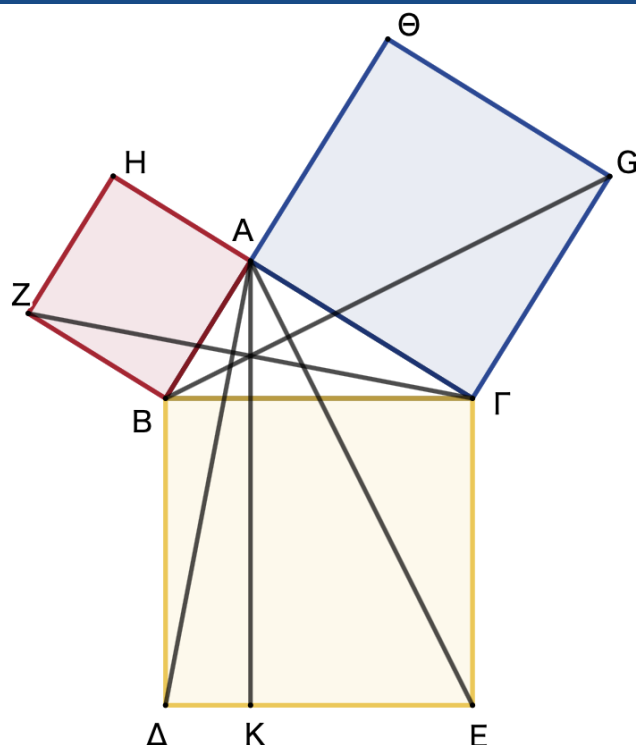


第1回 証明指導公開授業研究会 (小金井中学校授業セミナー)

「証明の必要性」の 学習過程を問う 授業研究会



この証明指導授業研究会では、中学校数学科におけるよりよい証明指導（広くは論証指導）を実現するために、東京学芸大学附属小金井中学校数学科の協力を得て、証明指導について議論を深める場をつくり、継続的な研究活動を進めてまいります。

証明指導について、これまでにたくさんの研究がされていますが、証明を苦手とする生徒は多く、指導の難しさを感じる教師も少なくありません。例えば、生徒が「証明の必要性」を理解できないという実態などは、国内外で伝統的に指摘されている問題です。

日本でも、中学校第2学年で、小学校で既に正しいと認めた性質の証明の必要性を感じられないという実態が依然として報告されており、証明をはじめて学習する生徒の「証明の必要性」のわかり方は一様でなく、実態と指導との間にギャップが想定されます。

そこで本研究会では、「証明の必要性」の学習に焦点を当てた授業研究会を通して、「証明の必要性」の学習過程を捉える視点や教材の開発について、皆様と一緒に議論していきたいと考えております。

当日は、「六角形の内角の和を求めなさい」という問題で2年4章の単元の導入の授業を実施します。「六角形の内角の和が 720° である」ことの説明を振り返り、何をもとに導かれるのかを整理し、もとになる「三角形の内角の和が 180° である」ことの証明の必要性について考えさせる授業を計画しております。

また、今回は、指導助言者の大田伸也先生から、ご講評・ミニ講演の形でより深くお話をいただく予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。

【研究テーマ】 論証導入期の「証明の必要性」の学習過程における概念理解の枠組みと教材の開発（初年度）

【主催】 樺沢 公一・谷地元 直樹（北海道教育大学旭川校）、東京学芸大学附属小金井中学校数学科

【開催日時】 2025年10月16日（木）13:00～16:00（12:40 受付開始）

【対象】 現職教員、教育関係者

【当日の概要】

授業趣旨説明、公開授業、研究協議、講評・ミニ講演：指導助言 太田 伸也先生（東京学芸大学名誉教授）

【申込】 参加費は無料です。右の申込フォーム QR からお申込みいただけます。 ↓参加申込 ↓当日資料

当日資料は、右 QR より授業前に DL できるようにいたします。

【問い合わせ】 北海道教育大学旭川校 樺沢 公一（かばさわ こういち）

E-mail : kabasawa.koichi@a.hokkyodai.ac.jp

